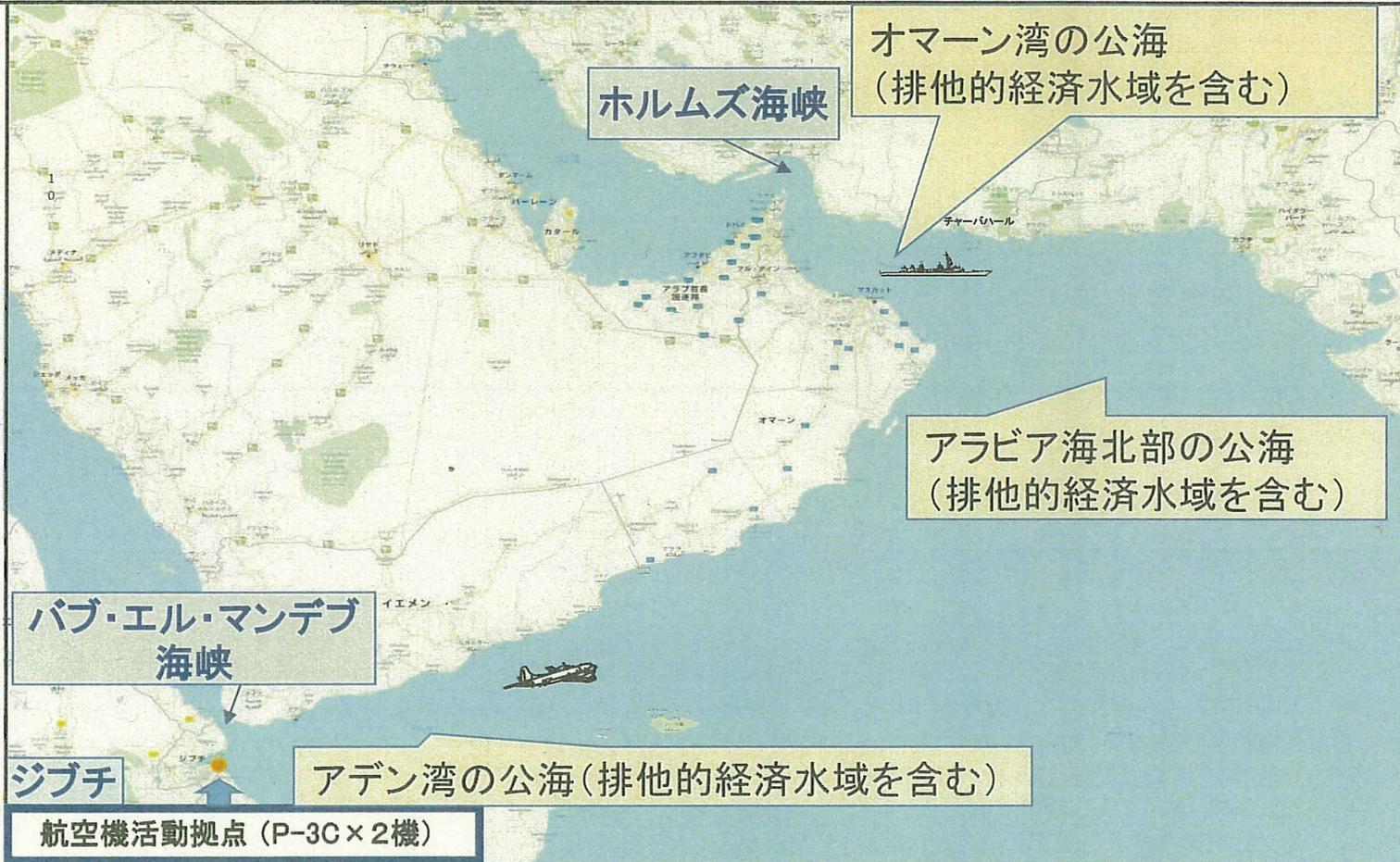


自衛隊による情報収集活動

- 活動の目的: 政府の航行安全対策の一環として、日本関係船舶の安全確保に必要な情報を収集。
 - 運用アセット: **護衛艦(ヘリコプター1~2機搭載)1隻(新規派遣)**
固定翼哨戒機P-3C 2機(派遣海賊対処行動部隊の航空機を活用)
 - 実際の現場海域における船舶の航行状況や周辺海域の状況、特異事象の有無等について、継続的に情報を収集することが可能。
 - 情報収集活動地域: **オマーン湾、アラビア海北部及びバブ・エル・マンデブ海峡東側のアデン湾の三海域の公海(排他的経済水域を含む)**
- ※ 不測の事態が発生するなど状況変化し、自衛隊による更なる措置が必要と認められる場合には海上警備行動を発令して対応(保護対象は日本関係船舶(海上警備行動による海賊対処時と同様)とし、個別具体的な状況に応じて対応)。



運用アセット

(艦艇部隊)



- ・護衛艦(ヘリコプター1~2機搭載) × 1隻
- 要員: 約200名
(司令部要員を含む。派遣艦艇によって変動する可能性あり。)

(航空機部隊)



- ・P-3C × 2機
- 要員: 約60名
(海賊対処行動部隊の航空機を活用し、同部隊の幕僚要員を追加。)

②

イラン軍の主な配置状況

令和2年1月15日
防衛省



(資料源: Jane's World Armies/Navies/Air Forces "Iran-Army/Navy/Air Forces" (2019.4/2019.6/2019.7)、CRS Report "Iran's Ballistic Missile and Space Launch Programs" (2018.8)、ONI "Iranian Naval Forces" (2017.2) (2019.6)等)

出典: 防衛省資料より小西洋之事務所作成 2020年1月17日 参議院外交防衛委員会 立憲・国民・新緑風会・社民 小西洋之

中東地域に展開している米軍部隊（2020年1月現在）

1. 陸軍

○米中央陸軍

活動地域：アフガニスタン，イラク，シリア，クウェート，カタール，
サウジアラビア等

2. 海軍（中東地域に米中央海軍固有の部隊は配備しておらず，必要に応じて部隊を展開）

○「ハリー・S・トルーマン」空母打撃群

○「バターン」機動展開打撃群

○無人偵察機（RQ-4）

3. 空軍（中東地域に米中央空軍固有の部隊は配備しておらず，必要に応じて部隊を展開）

○戦闘機（F-15，F-16，F-22，F-35）

○戦略爆撃機（B-52）

○無人多目的機（MQ-9）

○2戦闘飛行隊，1航空遠征航空団，2ペトリオット部隊，1THAAD部隊（2019年10月、サウジアラビアへの展開決定）

4. 海兵隊（中東地域に中央海兵隊の固有の部隊は配備しておらず，必要に応じて部隊を展開）

（出典：米中央軍HP等）

出典：防衛省資料より小西洋之事務所作成
2020年1月17日 参議院外交防衛委員会 立憲・国民・新緑風会・社民 小西洋之



Home » Aviation » USNI News Fleet and Marine Tracker: Jan. 13, 2020

USNI News Fleet and Marine Tracker: Jan. 13, 2020

January 13, 2020 11:17 AM



USNI News Graphic

出典: 防衛省資料より小西洋之事務所作成

2020年1月17日 参議院外交防衛委員会 立憲・国民・新緑風会・社民 小西洋之